



本日はよくお参り下さいました

桜の花が美しく咲きそろいましたが、皆さまいかがお過ごしですか。境内では、ソメイヨシノ・山桜の他にも、いつの間にか自生したスズラン・ベゴニア・フリージアの花が咲いたり、春真っ盛りです。4月7日からは、くりはま花の国で、ポピーまつりが開催され、6月まで100万本のカラフルなポピーを楽しむことができます。最近遊具も増えたので、お子様連れの方にもおすすめです。花見と言えば、桜の木の下で行うのが一般的ですが、桜のサは稲の神をさし、クラは座をさします。つまり桜は神様が宿る木なのです。この神聖な木の下で、おはらいをしたのがお花見の始まりと言われています。神様と共に楽しむお花見が、良い思い出になりますように。今月も皆様のご多幸と平穏無事をお祈り申し上げます。権禰宜道子



4月

1日・15日 月次祭(つきなみさい) 皇室の弥栄と国家安泰、氏子崇敬者並に社会の幸福と平和を祈ります。

5日 清明(せいめい) 清明は「清浄明潔」を略したもので、春先の清らかで、生き生きとした様子をいったものです。この頃になると、春の気配に包まれ、桜や草木の花が咲き始め、空は晴れ渡り、のどかな日々となります。

20日 穀雨(こくう) 穀雨とは、百穀を潤す春雨をいいます。この頃は、春雨が降る日が多くなり、田畑を潤して穀物などの種子の生長を助けるので、種まきの好機をもたらします。

29日 昭和の日 もともとは、昭和天皇の「天皇誕生日」として国民の祝日でした。昭和天皇が崩御された後「みどりの日」と改称されましたが、国民有志の願いを受け、激動の昭和時代を回顧する祝日「昭和の日」へと再改称されました。



昭和の紙芝居屋さん

生物学者であり、自然をこよなく愛された昭和天皇は、敗戦によって荒廃した国土に緑を取り戻す活動にも、お力を注がれました。この日には、昭和天皇の御事蹟に思いを馳せつつ、昭和の時代を振り返りましょう。

天神さまの豆知識

―八雲大神のお話―

久里浜天神社で主としておまつりされている神様は、菅原道真公ですが、ご一緒におまつりされている神様に八雲大神という神様がいらっしやます。八雲大神様は、別名を素戔嗚尊(スサノオノミコト)と云い、天照大御神と月読尊(ツクヨミノミコト)とともに父の伊弉諾尊(イザナギノミコト)から生まれた三貴子のうちの一柱の神です。しかし、素戔嗚尊は父から海の統治を命じられながら、その務めを果たさなかつたり、高天原で乱暴狼藉を働いたり荒ぶる一面を持っていました。スサは「すさぶ荒れる」であり、その名の通りの神格をもっています。神々によって高天原を追放された素戔嗚尊は、その後、出雲の地に降り立ち、その後妻となる奇稲田姫(タシナタヒメ)を助けるために八岐大蛇(ヤマタノオロチ)を退治します。このように、かつての荒ぶる神は、英雄神として大きな変貌を遂げたのです。その後、素戔嗚尊の系譜から日本の国造りを行った大国主神(オオクニヌシノカミ)が登場したりと、素戔嗚尊は天つ神と国



素戔嗚尊のおろち退治

つ神を結びつける役割を果たしています。現在は農業や厄除け、家内安全など多彩なご利益をもたらす神として信仰を集めています。また荒ぶるかみという性質から、疫神としても信仰され、京都・八坂神社にまつられました。その祭礼は祇園祭として行われ夏祭りの代表とされます。久里浜天神社でも夏の例祭において疫病退散を願う神輿渡御が行われますが、その時に素戔嗚尊が神輿の中にお乗りになって力強く氏子区域を練り歩きます。参考文献『神道とときたり事典』茂木貞純監修PHP研究所発行

今月の言葉

『至誠神を感ず』

人目がなくても、手を抜かず、努力を怠らないこと。失意の時も投げやりにならないこと。裏表がないこと。当たり前のようなことでも、まごころの伴った行動は、神様さえ感動させてしまうほど、素晴らしい。

参考文献『吉田松陰一言』安岡正泰  
監修 平成十八年六月二日 致知出版

社発行